

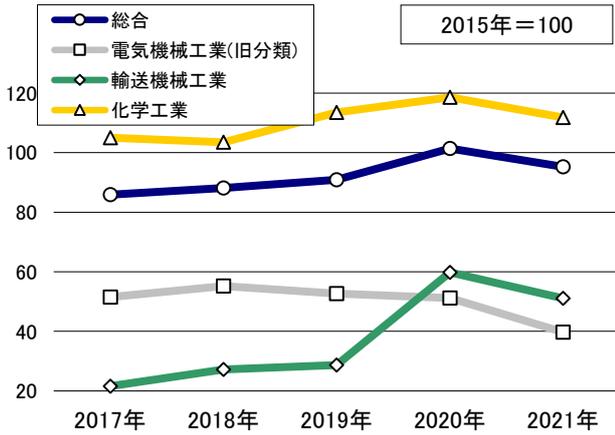
# 鋳工業

## 鋳工業生産の動き

2021年の鋳工業生産指数(原指数)の年平均は114.8(2015年=100)で、対前年比14.8%の増加となりました。

主な業種をみると、電子部品・デバイス工業162.2(対前年比29.1%増)、輸送機械工業122.5(同11.6%増)、化学工業99.1(同8.8%増)となっています。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)



資料出所 県政策企画部統計課  
「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

## 令和3年経済センサス-活動調査結果 (従業者4人以上の事業所が対象)

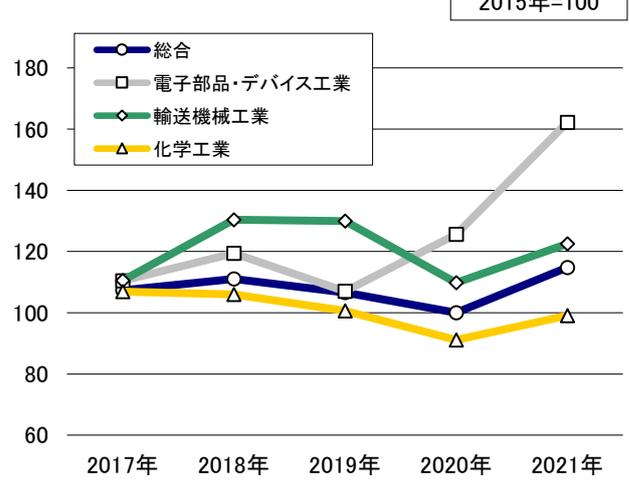
### (1) 概況

令和3年6月1日現在の事業所数、従業者数、令和2年1年間の製造品出荷額等は、事業所数が3,245事業所(対前年比4.5%減)、従業者数は201,632人(同2.9%減)、製造品出荷額等は10兆4,919億円(同2.1%減)となっています。

なお、令和2年の事業所数、従業者数、製造品出荷額は個人経営の事業所を含まず、令和元年の工業統計以前の数値と接続しないため、参考値としてください。

※図23の事業所数、従業者数：平成24, 25, 26年は当該年12月31日現在、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年以降は翌年6月1日現在の数値。

図21 鋳工業生産指数(原指数)

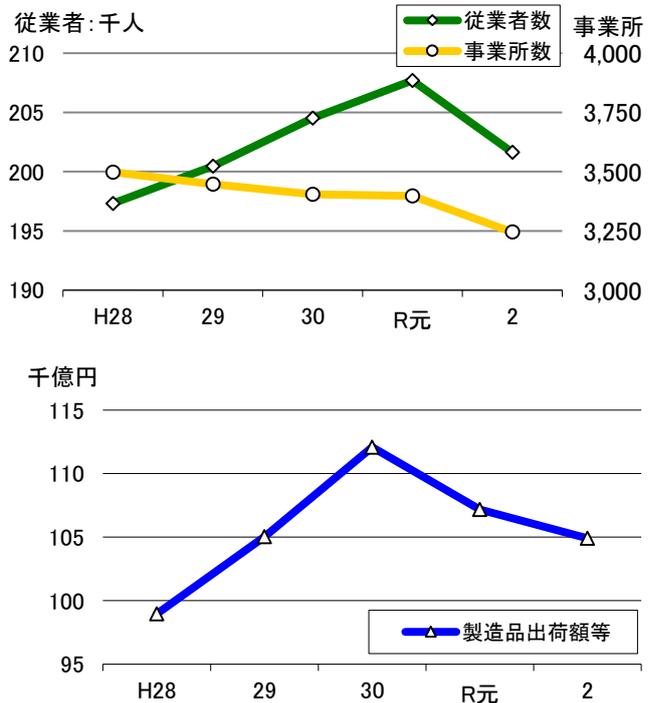


資料出所 県政策企画部統計課  
「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

2021年の鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)の年平均は95.3(2015年=100)で、対前年比6.0%の減少となりました。

主な業種をみると、電子部品・デバイス工業を含む電気機械工業(旧分類)39.7(対前年比22.5%減)、輸送機械工業51.1(同14.5%減)、化学工業111.8(同5.7%減)となっています。

図23 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等



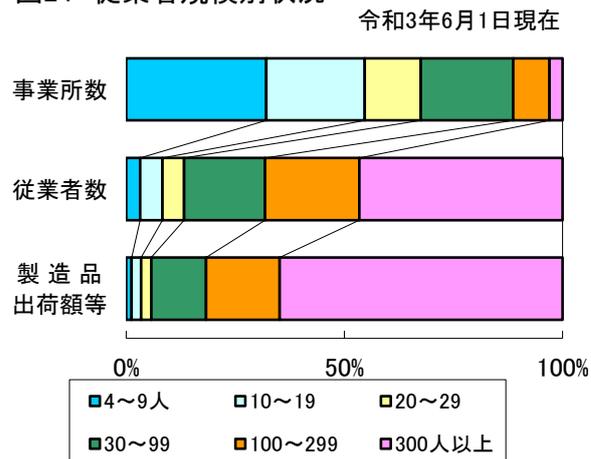
資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
県政策企画部統計課「三重の工業」

### (2) 従業者規模別にみた工業のすがた

令和3年6月1日現在の事業所数、従業者数及び令和2年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の32.1%(1,041事業所)を占めていますが、従業者数では同3.2%(6,516人)、製造品出荷額等では同1.3%(1,323億円)となっています。

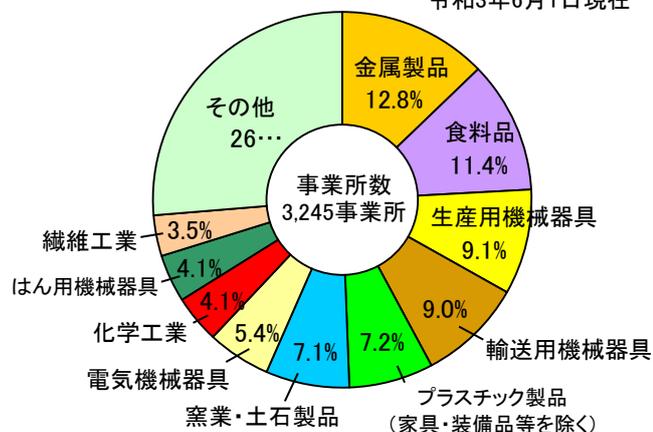
これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で全体の3.0%(98事業所)ですが、従業者数では同46.6%(9万3,916人)、製造品出荷額等では同64.8%(6兆7,994億円)を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
県政策企画部統計課「三重の工業」

図25 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合  
令和3年6月1日現在

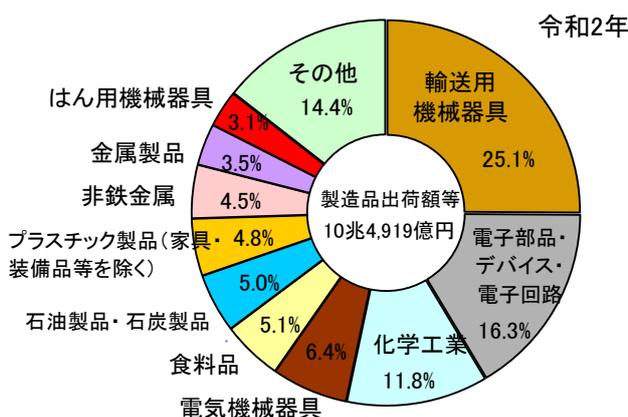
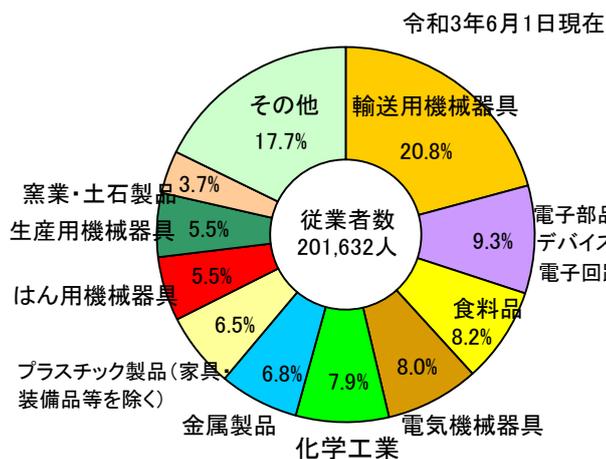


### (3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では金属製品製造業の占める割合が12.8%(414事業所)で最も高く、次いで食料品製造業が11.4%(369事業所)、生産用機械器具製造業が9.1%(294事業所)となっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業が20.8%(4万1,899人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が9.3%(1万8,739人)、食料品製造業が8.2%(1万6,577人)となっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が25.1%(2兆6,339億円)と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が16.3%(1兆7,138億円)、化学工業11.8%(1兆2,432億円)となっています。



資料出所 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
県政策企画部統計課「三重の工業」